

本時 6/11 時間目の板書



研究発表会の授業より

今回は、11月1日に行われた4年生の提案授業の紹介です。本時までの流れと研究協議の一部を紹介します。

単元名「くらしの中にある和と洋を調べよう～おもしろい！和・洋リーフレット展覧会～」

教材名「くらしの中の和と洋」 全11時間目

4年2組 才市 美奈 教諭

単元の目標：

- 関** 身の回りにある「和」と「洋」に関心を持ち、その特徴や良さについて違いを見つけながら読もうとしている。
- 読** 文章を読み、何をどのように比べているのかとらえ、目的に応じて必要な部分を引用したり、要約したりすることができる。
- 言** 段落相互の関係に注意しながら、指示語や接続語の役割を理解して読むことができる。

学習の流れ

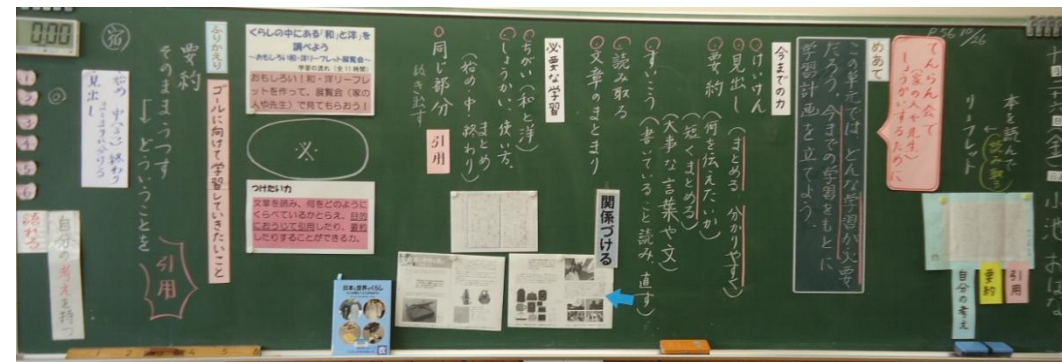
第1次

1時間目



実際に風呂敷とバッグを見せ、それぞれの良さを伝えていきます。身の回りにどんな和のもの、洋のものがあるかを思い出させて、和と洋に関心を持たせる1時間

2時間目



第2次

3～7時間目



参観日に展覧会を開くことを伝え、教師のモデルを提示してどんな力が必要なのかを話し合い、学習計画を立てました。引用を意識させるために先生が調べた本のコピーも配り、先生の原稿と比較させています。子ども達の意見をもとに学習の流れを作成しています。

教材文を全文掲示して、文章構成を捉えたり、比べるための2つの観点をおさえたりしました。また、教科書の文章をまとめた例を取り上げて要約や引用の必要性にも触れ、引用の仕方を学習しました。

文章構成の表

研究協議の記録より

◆育成すべき「資質・能力」を付けるために最適な言語活動であるか。

○3つが単元で位置付けられているよい授業

▼パッドモデルの提示をどういう意図で提示したのか→

▼前半部分は表記についての話題が中心になっていたので、教師の意図が子ども達に伝わってなかった。

▼主発問の「この3つが繋がっているか確かめる方法は」と言ったが、何に目をつけていいのかわからなかった。パッドモデルの時に、接続詞も加えられていればよかったのかも。

授業者・前時、文章から構成メモに変換したが、箇条書きのように書くと言っていた。文章に戻す時には、接続語つまりなどがいる。「～も」で繋げることが大事だった。

◆本時の目標が達成できたか。

○自分のシートも友だちのシートも見直していた。

○子ども達がすぐに教科書に戻って話し合いができていたのがすばらしかった。

△引用した部分を要約していたが、自分の考えを伝えるために引用したものを要約するという単元構成になっているのか。

授業者・過ごし方の時、教室を和室に見立てて床に座らせて納得していた子どもの姿があった。和にも洋にもどちらにもよさがある。使い方のよさが十分子ども達の中に落ちていなかったのかも。例文は経験になっているので自分の考えを後に付け足した

◆「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」は実現していたか。

○対話的な学び・ペアで自分の言葉で話せていた。前時の学習や生活と結び付けて話せていた。教師の声かけがよかった。

▼友だちの発表に対してどう応えたらいいのかわからない子どももいた。みんなが対話できるようになる手立ては？

授業者・班で話し合ったことは、全員で言えるように指導している。問い返しの力をつけるために、「つつこみ」を入れることを言っている。話し合ったことは言えるようにさせたい。

◆「言葉による見方・考え方」を働かせた児童の姿は見られたか。

○言葉にこだわって話せていた。○3つのことをよく理解できている。○家庭学習とのつながりがとてもよい。

△身に付いた力をどう生かしているか？

授業者・他の教科(社会・総合)で使っている子を褒めている。本時の「たり～たり」も別の単元で学習していた。言葉にこだわった時に、認めている。ノートに書くようにしている。

本時は、和室と洋室の良さを紹介するための文章を、引用・要約・自分の考えの3点を繋げて構成する授業でした。3点がつながっていない教師のパッドモデルを導入して示し、つながりを意識させて展開しました。書画カメラを使って、文章を画面に映しながらつながりの根拠を説明し

